かながわＣ☺－ネット通信　Ｎｏ．９４

神奈川県協同組合連絡協議会
かながわＣｏ－ネット会員組織　御中

２０２２年８月９日

かながわＣｏ－ネット幹事組織代表者会議にて かながわＣｏ－ネットの「2022 年度計画」が決定しました！

８月１日（月）に「幹事組織代表者会議」を開催しました。役員の選任、2021 年度（2021 年７月１日～2022 年６月 30 日）活動報告等を決定しました。別紙に 2021 年度活動報告・2022 年度活動計画を抜粋し、添付しておりますので各会員組織の活動にあたりご参照ください。

前列左から県農協中央会 大川会長、県生協連 當具会長

〇幹事組織代表者会議　報告・協議事項
（１）会員の状況について
（２）役員の選任について
（３）2021 年度活動報告及び収支決算の承認について
（４）2022 年度活動計画及び収支予算について
（５）その他

〇役員の選任結果
代　表　・神奈川県生活協同組合連合会代表理事会長　當　具　伸　一（再任）
　　・神奈川県農業協同組合中央会代表理事会長　大　川　良　一（再任）
監　事　・神奈川県漁業協同組合連合会代表理事専務　鵜　飼　俊　行（再任）
　　・神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会専務理事　井　上　浩　子（再任）

また、Ｃｏ－ネット会員図を別紙のとおり送付させていただきます。今後の協同組合間での連携の際にご活用いただければと思います。

「2022 年かながわ協同組合のつどい」
－ 協同組合の価値と地域のセーフティーネットとしての協同組合間連携を考える －

８月１日（月）に「2022 かながわ協同組合のつどい－協同組合の価値と地域のセーフティーネットとしての協同組合間連携を考える－」を開催し、昨年に続き、今回も Web 開催としたことで、会員組織をはじめとした 32 団体、149 名が参加しました。

「2022 年かながわ協同組合のつどい」は、昨年 12 月に開催されたＩＣＡソウル大会議論をもとに協同組合の価値やこれから何を実践すべきか考えることを目的に開催しております。ＪＣＡ協同組合連携部研究員 ワーカーズコープ連合会理事・海外連携推進部長　中野　理 氏、福島大学食農学類教授　小山良太 氏の２名に講演いただきました。

中野　理　氏

中野氏からは、第 33 回 ICA ソウル大会を起点に協同組合のアイデンティティに関する世界的な協議が開始されたことを踏まえ、世界的協議の背景や流れ、国内における取り組みが紹介されました。

協同組合の役職員・組合員が、日々の現場での事業・活動に引きつけながら、「協同組合とはなにか、どうあるべきか、どのような役割を果たすべきか」を話し合うことが最も重要であることを強調され、協同組合の意義や役割を改めて考える良い機会となりました。

小山良太　氏

小山教授からは、グローバル化・不確実な時代における協同組合の役割として、持続可能な生産流通体制の整備等が重要で、世界的にエネルギー等の供給体制が混乱した場合でも地域の協同組合間協同とその調整・連携の必要性についてわかりやすくお話いただきました。

具体的な取り組み事例として、産消協同組合間連携の「ふくしま大豆の会」や協同組合間協同の「地産地消ふくしまネット」、震災・原発事故後の協同組合間協同の取り組みについて紹介され、日頃から地域において協同組合間の連携をとることが有事における力になることを再認識する良い機会となりました。

かながわＣｏ－ネット交流行事「夏休み地引網体験」を開催しました

7月28日（木）に会員組織の役職員・組合員とその家族を参加対象とした交流行事「夏休み地引網体験」を3年ぶりに藤沢市鵠沼海岸で開催しました。新型コロナウイルスの感染状況が心配される中でしたが、未就学児等を含め121名が参加。当日は、地引網と併せ、会員組織の藤沢市漁協から相模湾の漁業について学び、環境への関心を高めるためにビーチクリーンボランティア活動を実施しました。

普段生きた魚に直接触れることのない子どもたちは網にかかった魚に触り、藤沢市漁協 葉山組合長の説明に目を輝かせました。

密にならないように気を付けて引きました

相模湾の漁業の説明をする
藤沢市漁協　葉山組合長

参加募集　イベント・セミナー等のご案内

2022 原爆と人間展

横浜市・新都市プラザ（そごう横浜店地下）にて、「2022 原爆と人間展」が催されます。神奈川県在住の被爆者が描いた絵の展示等がありますので、恒久の平和への思いを一層強くしましょう。

なお、同展にはかながわ Co－ネットも協賛しています。

開催日時：2022年8月20日（土）～8月22日（月）10:00～18:00
※22日は14時まで
場所：新都市プラザ（そごう横浜店地下２階正面入口前）
詳細：チラシをご覧ください。

県消費者団体連絡会・県生協連 公開学習会　ケアラー支援について考える

県消費者団体連絡会・県生協連は、一般社団法人日本ケアラー連盟　理事の中嶋圭子さんを講師に招き、ケアラーやヤングケアラーの置かれている現状や支援の状況を知り、そして今後の課題について考えることを目的に公開学習会を開催します。ご興味のある方はぜひご参加ください。

開催日時：2022 年 9 月 8 日（木）13:00～14:20
開催方法：オンライン（Zoom）での学習会
詳細：チラシをご覧ください。

憲法学習会　守りたい！私たちのくらしと平和　～今こそ考えよう 世界のこと 日本のこと～

県生協連は、埼玉、東京、千葉の生協連と共催で、法学者・大阪芸大客員　准教授の谷口真由美さんを講師に招き、国や国民のあり方を示す「日本国憲法」を改めて読み解き、私たちの日々の「くらし」を守るために、どのように考え行動したらよいかを考える機会として学習会を開催します。ご興味のある方はぜひご参加ください。

開催日時：2022 年 9 月 17 日（土）14:00～16:00
開催方法：オンライン（Zoom 配信等）での学習会
詳細：チラシをご覧ください。

労働者協同組合法周知フォーラム

厚生労働省は、2022 年 10 月 1 日に施行される「労働者協同組合法」を周知するため、全国ブロックに分けてフォーラムを開催します。関東ブロックは以下のとおり基調講演と事例紹介が行われます。ご興味のある方はぜひご参加ください。

厚生労働省 HP
「労働者協同組合法周知フォーラム」

開催日時：2022 年 9 月 17 日（土）13:00～16:00（予定）
場所：一橋講堂　（オンライン併用開催）
基調講演①「労働者協同組合法制定の現代的意義」
　明治大学教授　大高 研道　氏
基調講演②「関係団体から見た労働者協同組合法の概要とポイント」
　日本労働協同組合（ワーカーズコープ連合会）理事長　古村 伸宏　氏
事例紹介（リレートーク）
　くらしサポートワーカーズ・コレクティブ Lavori（神奈川県横浜市）
　企業組合つどい（ワーカーズ・コレクティブ）（埼玉県飯能市）
　ワーカーズコープちば（千葉県船橋市）
　ワーカーズコープ・センター事業団 あぐり～ん TOKYO（東京都大田区）
　株式会社創造集団 440Hz（東京都新宿区）

協同組合のアイデンティティのアンケートについて

国際協同組合同盟（ICA）は、2021 年 12 月のソウル大会を起点に、協同組合のアイデンティティ（定義・価値・原則）に関する世界的な協議を開始し、協議のための基礎データとして、協同組合のアイデンティティの認知や活用の状況について把握するための会員アンケートを実施しています。

このアンケートは次のような性格のものです。

・協同組合のアイデンティティの世界的協議のための基礎資料を集めることが目的。
・協同組合のアイデンティティ声明に関する認知・活用の状況、声明の有効性について問う設問で構成（声明改定について問うものではない）。
・組織としての回答のほか、個人の協同組合関係者（組合員、役職員等）としての回答、協同組合に関する専門家（研究者、教育者、開発者等）としての回答が可能。

ICA では、世界の多くの組織、個人、専門家からの回答を呼びかけています。世界的な協議に資するとともに、アイデンティティ声明についての認識を深めるきっかけともなるものです。

アンケートは各国語に訳されており、JCA が日本語版を作成しています。
詳しくは JCA の WEB サイトをご覧ください。

JCA 紹介ページ
「協同組合アイデンティティ」
アンケート実施中

＜担当事務局連絡先＞
ＪＡ神奈川県中央会 総務企画部(担当：田代・杉本)TEL 045-680-3001　sou-ki@chu.kn-ja.or.jp
神奈川県生活協同組合連合会（担当：相田）TEL 045-473-1031　Yuji.Aida@ucoop.or.jp

2021年度活動報告

Ⅰ．概　　況

2021年から2022年においても新型コロナウイルス感染症の影響が会員組織の事業・活動や会員組織間の連携にも大きな影響を及ぼしています。しかしこのような事業・活動の制約がある状況においても、2021年12月に開催延期されたＩＣＡソウル大会のテーマである「協同組合のアイデンティティを深める」ための契機と捉え、私たち協同組合が持続可能な地域社会の活性化への役割発揮に向け、どのようなことを実践すべきか改めて考える必要があります。

かながわＣｏーネットは、活動の制約により直接的な人と人のつながりが保ちにくいコロナ禍においても、Webを活用した会議等の開催やYouTube動画、かながわＣｏーネット通信により、会員組織間での相互理解の促進や協同組合理念の幅広い発信に努める活動を継続してきました。

また、かながわＣｏーネット全体での活動が難しい中でも、それぞれの会員組織間の事業連携やフードバンク活動をはじめとした非営利・協同の連携の取り組みを続けており、Web等を活用した意見交換会や連携イベントの開催等を模索しながら、今後も会員組織間の連携活性化や非営利・協同のネットワークの拡大が求められます。

Ⅱ．具体的実施事項

１．協同組合間での連携の促進

①　新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、「地産地消・協同活動現地学習会」は見送っていますが、動画による協同の取り組みを紹介する現地リポート企画を進め、第２弾として以下の企画を YouTube にアップロードし、次の企画も進行中です。

また、会員組織の役職員・組合員とその家族を参加対象とした交流行事「夏休み地引網体験」は、３年振りの 2022 年７月 28 日の開催に向け取り組みを進めました。

○ 現地リポート企画「『フードバンクかながわ』の活動と非営利協同組織との連携」
○ アップロード日：2021年８月
○ 内　　容：生協や企業、個人から食品の寄贈を受けて食支援を行う団体につなげる活動に取り組む「フードバンクかながわ」が、普段扱っていない生野菜のトライアルに密着し、ダイコン・キャベツの生産者（三浦市農協）と子ども食堂運営者（よこすかなかながや）へのインタビューを中心に、それぞれの思いをまとめました。

◆ かながわＣｏーネット YouTube チャンネル URL
https://www.youtube.com/channel/UCyp4EM3hVppGerMnHYVOMyg

②　動画を使った収穫体験等、コロナ禍でもできる協同組合間連携地産地消企画の実施やコロナの感染者数が減少傾向であった時期は協同組合間の意見交換を再開するなど、会員間での相互利用や意見交換が進められました。（Ｐ22～23 参照）

③　かながわＣｏーネット事務局のＪＡ神奈川県中央会が賛助会員として加入している「神奈川災害ボランティアネットワーク（事務局：県生協連）」を通じて協同のネットワークによる地域防災のあり方検討に向けたつながり強化を模索しました。

２．学習会・公開講座等の開催

学習会兼関東学院公開講座を 2022 年国際協同組合デーにちなみ幹事組織代表者会議と合わせて開催することとしており、下記の「2022 年かながわ協同組合のつど

い」について、学習会な側面も持たせることとしています。

2018、2019 年度に連携開催してきた関東学院大学公開講座（協同組合講座）は開催を見送っていますが、アドバイザーの佐藤幸也教授より、同大学の学生対象の教養セミナー「ＳＤＧｓと協同組合」の中でＪＡと労協の実務者に講義依頼があり、６月 28 日にＪＡ横浜、７月 12 日（予定）に労協センター事業団神奈川事業本部が講師を受け持つこととなりました。

また、会員内外の組織が開催する学習会等について、かながわＣｏーネット通信を通じて、情報共有し、参加を呼びかけました。

３．かながわ協同組合のつどいの開催

① 2020年の開催を予定していた「かながわ協同組合のつどい」は、ＩＣＡソウル大会の議論を受けて、協同組合の価値を改めて地域に発信していくことを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でＩＣＡソウル大会が2021年12月まで延期となったことにより、2020年の開催を見送ることとし、同大会のテーマである「協同組合のアイデンティティを深める」をつどいのテーマとし、2021年８月にZoomによりWeb開催しました。同つどい開催にあたっては、幹事組織間で2021年４月に意見交換会を行っています。

○ テ ー マ：今こそ協同組合のアイデンティティを深めよう
○ 開 催 日：2021年８月２日（月）
○ 開催方法：ZoomによるWeb開催
○ 内　　容：課題提起「協同組合のアイデンティティをいま改めて考える～共有財の破壊にどう立ち向かうか～」
登壇者：長野県高齢者生協 理事長／農園 Vento e Terra（風と土）
園主　田中 夏子 氏
「労協法成立とこれからの協同労働のアイデンティティ」
登壇者：ワーカーズコープセンター事業団神奈川事業本部
本部長　尾添 良師 氏
登壇者：神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会
専務理事　井上 浩子 氏
『フードバンクかながわ』と非営利協同組織との連携（YouTube 動画上映）

② 2022年上期の開催としていた「2022年かながわ協同組合のつどい」は、ＩＣＡソウル大会の議論をもとに、協同組合の価値やこれから何を実践すべきかを考えることとし、「協同組合の価値と地域のセーフティーネットとしての協同組合間連携を考える」をテーマとし、2022年８月１日（月）にZoomによるWeb開催とすることとし、2022年３月に幹事組織間で意見交換会を行うなど、開催に向けて取り組みを進めました。

○ テ ー マ：協同組合の価値と地域のセーフティーネットとしての協同組合間連携を考える
○ 開 催 日：2022年８月１日（月）（予定）
○ 開催方法：ZoomによるWeb開催
○ 内　　容：講演Ⅰ：ＩＣＡソウル大会から「協同組合のアイデンティティ」へ
登壇者：JCA協同組合連携部 研究員／ワーカーズコープ連合会 理事・海外連携推進部長　中野　理 氏
講演Ⅱ：協同組合間連携は地域のセーフティーネット～未来に向け食・災害について考える～
登壇者：福島大学 食農学類教授　小山 良太 氏

４．福祉健康委員会活動の充実

福祉健康委員会については、昨年度に引き続き、コロナ禍により自由な活動はできませんでしたがオンラインを活用するなど、創意工夫によってさまざまな活動が行われました。

①　全体説明会

昨年度は書面開催（全体説明会資料送付）でしたが2021年度の全体説明会は４つの地区委員会でサテライト会場を用意していただき、オンラインを使って開催しました。

②　県推進委員会（年６回開催）

地区委員会活動の情報共有、地区委員交流会、全体説明会開催に向けた準備等、対面を控えオンラインで開催しました。

（2021年７月14日、９月21日、10月20日、12月9日、2022年３月30日、５月27日）

③　地区委員会の活動内容

ア）地区委員交流会

日　　時：2022年１月24日（月）
場　　所：新横浜オルタナティブ生活館　スペースオルタより
学習テーマ：災害に備えて　～地球環境の理解と備え
講　　師：ＮＰＯ法人かながわ３１１ネットワーク代表理事　伊藤 朋子 氏
開催方法：サテライト開催（県推進委員会会場と４つの地区委員会会場）を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染の再拡大をうけ、急遽YouTube配信としました。

イ）各地区委員会の取り組み

地　区	参加組織	活動内容（要旨）
横浜川崎	・ユーコープ ・パルシステム神奈川ゆめコープ ・医療生協かながわ ・福祉クラブ生協 ・ＪＡ横浜 ・ＪＡセレサ川崎	【主な活動】 ・認知症予防学習会（セルフハンドマッサージ、アロマミスト） ・横浜シティガイド案内により花を見ながらウォーキング（像の鼻パーク、山下公園、元町・中華街）
湘南	・ユーコープ ・パルシステム神奈川ゆめコープ ・医療生協かながわ ・ＪＡよこすか葉山 ・ＪＡさがみ	【主な活動】 ・フレイル予防講習会（オンライン）
県央	・ユーコープ ・ＪＡあつぎ ・ＪＡ県央愛川 ・ＪＡ相模原市 ・ＪＡ神奈川つくい	【主な活動】 ・簡単手芸（さくらほりきり、シールはり絵）・簡単お菓子作り（知育菓子） ・当事者が語る！「発達障害」ホントの所（オンライン学習会）
西湘	・ユーコープ ・医療生協かながわ ・ＪＡ湘南 ・ＪＡはだの ・ＪＡかながわ西湘	【主な活動】 ・小田原漁港とかます棒作り体験

５．フードバンクかながわ等との連携

新型コロナウイルス感染症による食支援を求める声の高まりを受け、会員組織からフードバンクかながわをはじめとしたフードバンクや子ども食堂へ積極的な支援が行われ、かながわＣｏーネット通信で紹介しました。

また、前述に記載のとおり、現地リポート企画第２弾として、フードバンクかながわの活動と非営利協同組織との連携にフォーカスした動画を作成しました。

６．平和活動への連携した取り組み

平和活動の取り組みの一環で「2021原爆と人間展」へ協賛・支援しました。

７．連絡協議会の会員組織内および県民の認知度向上

会員組織間の連携事例やイベント、活動等の情報を発信するため、事務局より会員あてに「かながわＣｏーネット通信」をＥメールで発信しました。(No.77～92)

また、県生協連ＨＰへの掲載をはじめ、ＪＣＡ（日本協同組合連携機構）のＨＰ（県段階の協同組合間連携）への掲載や YouTube にアップした現地リポート企画動画等、会員組織外への情報発信により、かながわＣｏーネットの認知度向上に努めました。

８．未加入の協同組合への働きかけ等

ＪＣＡとの連携や「かながわ協同組合のつどい」の企画等を通じ、他の協同組合への働きかけの機会を検討しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり具体的な取り組みは見送りました。

９．会の運営にかかる会議の開催

①　幹事組織代表者会議

2021年８月２日(月) 15時30分より　Web開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からZoomによるWeb開催としました。

②　事務局統括役員会議

2021年７月21日、2022年２月１日

2022年度活動計画

2022 年度の「かながわＣｏーネット」の活動にあたって

Ⅰ　基本方針

かながわＣｏーネットは、県内の協同組合をはじめ非営利・協同の理念を共有する組織が緩やかにつながり、より広い交流・連帯をすすめ、協同組合の理念を発信し、すみよい地域社会づくりに寄与することを目的に設立６年目を迎えました。

この間、協同の理念を共有する人と人のつながりづくりを実践してきましたが、新型コロナウイルス感染症は、会員組織の事業・活動や会員組織間の連携に大きな影響を及ぼしています。

しかし、このような事業・活動の制約がある状況は、2021 年 12 月に開催されたＩＣＡソウル大会のテーマである「協同組合のアイデンティティを深める」ための契機と捉えることができ、また、労働者協同組合が「持続可能で活力ある地域社会の実現に資する」存在であることを定めた労働者協同組合法の施行（2022 年 10 月）は正に協同組合のあり方を再認識する好機と言えます。

このような情勢のなか、かながわＣｏーネットは、2019 年に設定した「ＳＤＧｓの目標を踏まえた中長期的な取り組みテーマ」に掲げる「協同組合の発展」「食と環境」「助け合い」「健康と福祉」「持続可能なエネルギー」「恒久の平和」を踏まえ、会員組織間の連携促進と協同の理念のさらなる普及に向けた活動を展開します。

Ⅱ　2022 年度活動計画

１．協同組合間および非営利組織との連携促進

①　動画により協同の取り組みを紹介する「現地リポート」企画を進めながら、地産地消・協同活動現地学習会の実開催可能な状況と判断されれば機動的な実施に向け検討します。

また、会員組織の役職員・組合員とその家族を参加対象とした交流行事「夏休み地引網体験」は、人数と内容を縮小して３年振りに開催します。（2022 年７月 28 日開催）

②　会員間での意見交換会・視察、共同イベントの開催や地域の実情に合わせた事業の相互利用等を促進します。

③　行政や非営利組織等との連携による地域防災や就労準備支援など、協同のネットワークによる地域社会づくりを促進します。

④　ＪＣＡ（日本協同組合連携機構）等を通じ、国内外の協同組合との連携をはかります。

２．学習会・公開講座等の開催

協同組合・地域社会を取り巻く諸情勢を踏まえた学習会や協同組合への理解を広げるための講座等をアドバイザーの皆様はじめ有識者と連携して開催します。

時　　期	内　　容
2023 年 7 月	学習会兼公開講座を 2023 年国際協同組合デーにちなみ幹事組織代表者会議と合わせて開催することを視野に入れ検討します。
その他	会員内外の組織が開催する学習会等について、かながわＣｏーネット通信等を通じて情報共有し、積極的な参加を呼びかけます。

３.「かながわ協同組合のつどい」の開催

① 2021 年 12 月のＩＣＡソウル大会の議論をもとに、協同組合の価値やこれから何を実践すべきか考えることを目的に「2022 年かながわ協同組合のつどい」を開催します。

○ テ ー マ：協同組合の価値と地域のセーフティーネットとしての協同組合間連携を考える

○ 開 催 日：2022年８月１日（月）

○ 開催方法：ZoomによるWeb開催

○ 内　　容：講演Ⅰ：ＩＣＡソウル大会から「協同組合のアイデンティティ」へ
登壇者：JCA協同組合連携部 研究員／ワーカーズコープ連合会 理事・海外連携推進部長　中野　理 氏
講演Ⅱ：協同組合間連携は地域のセーフティーネット～未来に向け食・災害について考える～
登壇者：福島大学 食農学類教授　小山 良太 氏

② 「2023 年かながわ協同組合のつどい」について、企画・開催することとし、会員組織の組合員･役職員はじめ 2019 年全国協同集会でつながりのできた方々や県内外の協同組合関係者を含む幅広い参加を呼びかけます。

４．福祉健康委員会活動の充実

各地区福祉健康委員会および県推進委員会の自主的な活動を支援・促進するとともに、幅広い組織の参加を呼びかけます。

５．フードバンクかながわ等との連携

フードバンクかながわをはじめ、市町村・社協および地域で活動するフードバンク組織、子ども食堂等と連携し、会員組織におけるフードドライブ活動等、食品ロス削減・食支援の取り組みを促進します。

６．平和活動への連携した取り組み

核兵器廃絶に向けた取り組み等､平和な社会に向けた活動に賛同し連携を進めます。

７．会員組織内外における認知度向上

かながわＣｏーネット通信の発行、YouTube への動画のアップロード、県生協連ウェブサイトへの活動内容の掲載等、活動内容の情報共有・発信を進めます。

８．未加入協同組合への働きかけ等

県内の未加入協同組合（未加入単組、信用金庫、信用組合、中小企業等協同組合等）に連携の促進を働きかけるとともに、多様な組織の連携による持続可能な地域社会づくりに向けた取り組みを検討します。

９．会の運営にかかる会議の開催

時　　期	内　　容
2023 年 7 月	幹事組織代表者会議（2023 年度活動計画等の決定） ※必要に応じて幹事組織事務局会議等を開催。
随時	事務局統括役員会議（会の運営に関すること）

以上

かながわＣｏ-ネット（神奈川県協同組合連絡協議会）　会員･アドバイザー　８４組織　(順不同･2021 年7月 29 日)

【農業協同組合】　１８組織
横浜農業協同組合
セレサ川崎農業協同組合
よこすか葉山農業協同組合
三浦市農業協同組合
さがみ農業協同組合
湘南農業協同組合
秦野市農業協同組合
厚木市農業協同組合
県央愛川農業協同組合
かながわ酪農業協同組合
かながわ西湘農業協同組合
相模原市農業協同組合
神奈川つくい農業協同組合
神奈川県農業協同組合中央会
神奈川県信用農業協同組合連合会
全国農業協同組合連合会神奈川県本部
全国共済農業協同組合連合会神奈川県本部
神奈川県厚生農業協同組合連合会

【森林組合】　９組織
さがみはら津久井森林組合
清川村森林組合
愛川町森林組合
伊勢原市森林組合
秦野市森林組合
松田町森林組合
南足柄市森林組合
小田原市森林組合
神奈川県森林組合連合会

【信用金庫】　１組織
城南信用金庫

【生活協同組合】　２３組織
神奈川高齢者生活協同組合
生活協同組合うらがＣＯ-ＯＰ
生活協同組合ユーコープ
生活協同組合ナチュラルコープ・ヨコハマ
生活協同組合パルシステム神奈川
生活クラブ生活協同組合・神奈川
福祉クラブ生活協同組合
全日本海員生活協同組合
富士フイルム生活協同組合
医療生協かながわ生活協同組合
神奈川北央医療生活協同組合
神奈川みなみ医療生活協同組合
川崎医療生活協同組合
麻布大学生活協同組合
宇宙科学研究所生活協同組合
神奈川大学生活協同組合
東京工芸大学生活協同組合
横浜国立大学生活協同組合
横浜市立大学生活協同組合
全労済神奈川県本部
やまゆり生活協同組合
中央労働金庫　神奈川県本部
神奈川県生活協同組合連合会

【働き方の協同組合】　４組織
日本労働者協同組合連合会センター事業団神奈川事業本部
神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会
特定非営利活動法人　ワーカーズ・コレクティブ協会
企業組合ワーカーズコープ・キュービック

【アドバイザー】（50 音順）　８名
佐藤幸也　関東学院大学教授　　白石正彦　東京農業大学名誉教授
高橋　巌　日本大学教授　　田代洋一　横浜国立大学･大妻女子大学名誉教授
田中夏子　農園Vento e terra　　富沢賢治　一橋大学名誉教授
藤本俊明　武蔵野大学准教授　　古沢広祐　國學院大學教授

【漁業協同組合】　１９組織
横浜市漁業協同組合
横須賀市東部漁業協同組合
長井町漁業協同組合
横須賀市大楠漁業協同組合
みうら漁業協同組合
三和漁業協同組合
葉山町漁業協同組合
小坪漁業協同組合
鎌倉漁業協同組合
腰越漁業協同組合
江の島片瀬漁業協同組合
藤沢市漁業協同組合
茅ヶ崎市漁業協同組合
平塚市漁業協同組合
大磯二宮漁業協同組合
小田原市漁業協同組合
真鶴町漁業協同組合
神奈川県内水面漁業協同組合連合会
神奈川県漁業協同組合連合会

【関係団体】　１０組織
神奈川県労働者福祉協議会
特定非営利活動法人参加型システム研究所
神奈川県消費者団体連絡会
共栄火災海上保険株式会社京浜支店
株式会社グリーンピア
株式会社神奈川県農協情報センター
株式会社神奈川県茶業センター
株式会社農協観光神奈川支店
丸福水産株式会社
公益財団法人かながわ生き活き市民基金

被爆77年
2022原爆と人間展

入場無料

8月20日(土)～8月22日(月)

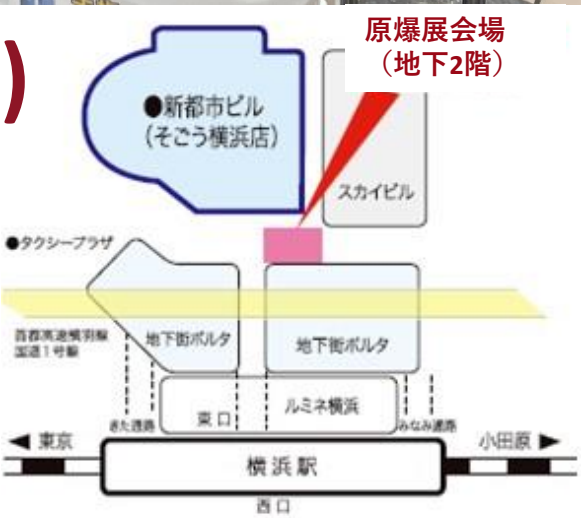
10時～18時（22日は14時まで）

＊神奈川県在住の被爆者が描いた絵の展示

＊被爆証言　（・午前11時より　・午後1時より）

放映時間（期間中毎日）

感染対策により証言は録画放映ですが、放映中と放映後30分程度、ご本人が参加の予定です。



主催：2022原爆と人間展運営委員会
神奈川県原爆被災者の会、ユーコープ、パルシステム神奈川、川崎医療生協、医療生協かながわ、神奈川北央医療生協、神奈川みなみ医療生協、神奈川県生活協同組合連合会、原水爆禁止神奈川県協議会、神奈川県建設労働組合連合会

お問合せ先　神奈川県生活協同組合連合会　045-473-1031

【神奈川県消費者団体連絡会・神奈川県生活協同組合連合会　公開学習会】

ケアラー支援について考える

　無償で家族や身近な人の介護や看病、日常生活上での世話などをするケアラーは、身体的、精神的、経済的に過重な負担がかかっており、18 歳未満のヤングケアラーの場合には、学校生活や将来の社会生活にも影響を及ぼすともいわれています。

　これらの問題は家庭内のデリケートな部分でもあることや、本人や家族に自覚がないこともあり、支援が必要であっても表面化しにくい構造となっています。今回は、ケアラーの置かれている現状や支援の状況を知り、そして今後の課題について考えることを目的に学習会を開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしています。

日　　時　：　９月８日（木）　13:00～14:20
開催方法　：　オンライン（Zoom）での学習会

テーマ　　：　ケアラー・ヤングケアラーの現状と課題について
講　　師　：　中嶋 圭子 さん（一般社団法人日本ケアラー連盟 理事）

～講師のご紹介～
一般社団法人日本ケアラー連盟理事、社会福祉士、NPO 法人参加型システム研究所客員研究員、子どもの家族のための緊急提言プロジェクト運営委員。
長年ケアラー・ヤングケアラー支援に携わり、昨年はこども庁議論への緊急提言をはじめ、神奈川県内での条例づくりの取り組みなどに関わる。

申し込み方法

申込み締切り　９月１日（木）

お申し込みは、以下のいずれかの方法でお願いします。

➢右の二次元コード、もしくは下記 URL から
https://forms.gle/3ymh2NWokuXhkFQm8

➢メール　：　kanagawakensyoudanren@gmail.com　（神奈川県消費者団体連絡会　庭野・佐々木）
※メールには「所属団体名」「氏名」「お電話番号」「資料データ受信可能メールアドレス」の記載をお願いします。

＜お問い合わせ＞　神奈川県消費者団体連絡会　庭野・佐々木まで（TEL：045-473-1031）

主催：神奈川県消費者団体連絡会・神奈川県生活協同組合連合会

憲法学習会

守りたい！私たちのくらしと平和
～今こそ考えよう 世界のこと 日本のこと～

ロシアの侵攻によりウクライナの日常が突然に失われたことは、「平和がとても脆い」と感じた出来事でした。

日本でも新型コロナウイルス感染拡大の影響で貧困格差が広がるなど、社会不安が広がっています。そのような中「今こそ改憲して社会不安や課題を解決すべき」という意見も聞こえます。

国や国民のあり方を示す「日本国憲法」を改めて読み解き、私たちの日々の「くらし」を守るためには、どのように考え行動したらよいかを、皆さんで考えたいと思います。

講師
谷口真由美さん
（法学者・大阪芸大客員准教授）

様々な社会問題に、大阪のおばちゃん目線で鋭くつっこみ、問題提起し、誰にでも分かりやすく解説。テレビ、ラジオでの情報・報道番組出演、新聞・機関誌コラム、講演会など多数。TBS「サンデーモーニング」にコメンテーターとしても出演中。

◆日時
9月17日（土）
14：00～16：00

◆オンライン開催
（Zoom 配信　等）

【共催】
埼玉県生活協同組合連合会
神奈川県生活協同組合連合会
東京都生活協同組合連合会
千葉県生活協同組合連合会

当日の
タイムスケジュール案

14：00	開会、谷口先生講演
15：20	感想交流（ブレイクアウトルームで交流）
15：35	全体交流、谷口先生講評
16：00	閉会

【募集】200名　3つの参加方法から、いずれかをお選びください。
A：Zoomでオンライン参加
B：YouTubeライブ配信（講演のみ視聴）
C：後日アーカイブ動画視聴（期間限定配信）

【申込締切】2022年9月12日（月）正午

【申込方法】下記の方法でお申し込みください
□申込フォーム（下記URL、二次元バーコード）から
https://onl.la/5Xyk9hU
□メール　Kanagawakenren2@coopkana.jp
①お名前（フリガナ）②お住いの都県　③ご職業他（生協組合員、役職員、学生、その他）④所属生協・団体・法人等（任意記入）⑤参加方法（上記A・B・C）⑥ご使用になる機器（パソコン、タブレット、スマホ、その他）
※個人情報は、本企画のみでしか使用しません。

【問い合わせ】　神奈川県生協連　TEL　045-473-1031

【お願い】通信環境は、各自でご確認、ご対応をお願いします。